

市川市で最も適切な議員定数は！？

市川市議会議員は何人いるかご存じですか？地方自治法91条によると、人口30万以上50万未満の都市は上限46人まで認められています。市川市の人口は47万6千人ですが、条例により4人減らし、42人にしました。

私は42人という議員定数は多いと考えています。議員定数は、明治21年制定の市町村制の際に枠組みが作られ「当時の議員の性質が高額納税者達の名誉職だったので、人数が多い方が良い。」と判断して決定した。」という仮説をもっているからです。現在は、議員の名誉職的な意味は低く、122年前の法律をベースに考えるのは少し違うと思います。参考程度になりますが、アメリカの例も述べます。ニューヨーク市は市川市の17倍の821万人も住民がいますが、市議会議員は47人です。オークランド市は市川市の5分の1の8人しか市議会議員がいませんが、住民は40万人います。議員の人数が少ないと「行政チェック機能弱体化」「市民の声が届かない」「議会の多様性の阻害」「常任委員会機能低下」「新人候補の減少」等デメリットもありそうですが、単純比較はできませんが、少ない人数でも破綻せず、成立しそうです。

私の望む議員定数を述べます。現在の42人から4人減らして、38人です。市川の有権者は38万1千人いますので、有権者1万人に対して、市議会議員1人です。以降様子を見て、うまく機能しないようであれば元に戻せばいいし、逆に議員の資質向上という副次的なメリットも得た上で、問題がなければ、さらに定数削減の議論を深めていきます。今、市川市は、不景気により税收も減り、超高齢化社会を控え、財政の危機的状况を迎えようとしています。そんな中、市川市役所の職員が頑張つて経費を削減し、リストラもしているのに、議会が何もしないのはおかしいです。議会も積極的に経費削減、リストラに動くべきです。これが私が実現したい市川市議会です。

政治不信による「議員なんていらん！」という議員定数削減論は、プラスにならない反面、それを念頭において議論をすれば、良い街が形成されると信じています。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ♪

平成22年8月19日

増田好秀